

仙台高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	公共
科目基礎情報						
科目番号	0005			科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	名取キャンパス一般科目			対象学年	1	
開設期	通年			週時間数	2	
教科書/教材	公共 東京書籍					
担当教員	西井 麻里奈					
到達目標						
・ 現代社会における社会・政治・経済の分野における、基礎的な知識を身につけることができる。 ・ 基礎的な知識をもって、現代社会のなかに課題を発見し説明することができる。 ・ それぞれの課題と自己との関係について、知識を用いて考えを表現することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安（優）		標準的な到達レベルの目安（良）		未到達レベルの目安（要改善）	
関心・意欲・態度	自己形成の課題，民主主義の基本原理，現代社会のしくみについて意欲的に追究しようとしている。		自己形成の課題，民主主義の基本原理，現代社会のしくみについてある程度追究しようとしている。		自己形成の課題，民主主義の基本原理，現代社会のしくみについて追究しようとしていない。	
思考・判断・表現	自己を見つめ直すことの意義，民主主義の意義や現代社会の成り立ち・変容と課題について丁寧に考察している。		自己を見つめ直すことの意義，民主主義の意義や現代社会の成り立ち・変容と課題についてある程度考察している。		自己を見つめ直すことの意義，民主主義の意義や現代社会の成り立ち・変容と課題について考察できていない。	
知識・理解	思想，民主主義の基本原理，現代社会のしくみについて基礎的な知識が身についている。		思想，民主主義の基本原理，現代社会のしくみについてある程度基礎的な知識が身についている。		思想，民主主義の基本原理，現代社会のしくみについて基礎的な知識が身につけていない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	この授業では、現代社会の成り立ち、仕組み、歴史的経緯、現状と課題に関する知識を習得し、自らの生きる社会と自己との関係を、具体的な事例を通じて学びます。 学生のみならず、社会の多様な構成員と共に生き、また、自らも自由に生きていくための、ものの考え方・見方を、身に着けることを目的とします。					
授業の進め方・方法	★ 講義では、スライドを用いて説明します。 ★ 教科書は『公共』とワークを利用します。参考文献は必要に応じて適宜紹介します。					
注意点	公共の授業で扱われるテーマは、みなさんの日常生活と密接な関わりを持っています。授業以外のことでも、日頃からニュースや新聞、本などを定期的にチェックし、現代社会の問題について考えるようにしてください。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス、「公共的な空間で生きる私たち」		本授業の目的や概要について、理解する。	
		2週	「公共的な空間における人間としてのあり方・生き方」1		個人の尊厳と、自由・自主・自律について、理解し、説明することができる。	
		3週	「公共的な空間における人間としてのあり方・生き方」2		「公共」の意味・公共空間とはなにか、理解し、説明することができる。	
		4週	「公共的な空間における人間としてのあり方・生き方」3		日本における「公」と「私」について、理解し、説明することができる。	
		5週	「公共的な空間における人間としてのあり方・生き方」4		功利主義と義務論について、理解し、説明することができる。	
		6週	「公共的な空間における人間としてのあり方・生き方」5		ビデオスタディ	
		7週	「公共的な空間における人間としてのあり方・生き方」6		環境倫理について、理解し、説明することができる。	
		8週	前半の振り返り		個人の自由と公共との関係について、理解し、説明することができる。	
	2ndQ	9週	「公共的な空間における基本原理」 1		なぜ民主政治が生まれたか、理解し、説明することができる。	
		10週	「公共的な空間における基本原理」 2		日本国憲法とは何か。その3つの原理について理解し、説明することができる。	
		11週	「公共的な空間における基本原理」 3		基本的人権とは何か、理解し、説明することができる。	
		12週	「公共的な空間における基本原理」 4		人権と自由を社会のなかでどのように確保していくのかについて、理解し、説明することができる。	
		13週	「公共的な空間における基本原理」 5		個人の尊厳と平等について、理解し、説明することができる。	
		14週	「公共的な空間における基本原理」 6		多文化主義について、理解し、説明することができる。	
		15週	まとめ		授業全体を振り返り、前期に学んだことの全体像をつかみ、目標の達成度を確認することができる。	
		16週	期末試験の解説		期末試験の結果を返却し、解答例を確認することができる。	
後期	3rdQ	1週	後期のガイダンス：「法的な主体となる私たち」 1		法・政治・経済について学ぶ意味を理解し、説明することができる。	

		2週	「法的な主体となる私たち」 2	新しい人権について理解し、説明することができる。
		3週	「法的な主体となる私たち」 3	契約と法について理解し、説明することができる。
		4週	「法的な主体となる私たち」 4	司法とは何か、司法参加の意義について理解し、説明することができる。
		5週	「政治的な主体となる私たち」 1	前回までの内容の小テスト。選挙制度と政治参加について理解し、説明することができる。
		6週	「政治的な主体となる私たち」 2	立法、行政、地方自治はどうあるべきか、考えることができる。
		7週	「政治的な主体となる私たち」 3	国際社会の課題を解決するためにどのようなルールが必要か、国家と国際法、国際連合の役割を理解し、説明することができる。
		8週	「政治的な主体となる私たち」 4	国際社会の平和と安全を実現するにはどのようなことを考えるべきか、理解し説明することができる。
	4thQ	9週	「政治的な主体となる私たち」 5	地域紛争の現状と課題について理解し、説明することができる。
		10週	前半のふり回り	法、政治について学ぶ意味を再確認することができる。
		11週	「経済的な主体となる私たち」 1	望ましい労働環境を実現するために必要な取組が何か、理解し説明することができる。
		12週	「経済的な主体となる私たち」 2	経済のグローバル化が現代社会にもたらす影響について、理解し説明することができる。
		13週	「経済的な主体となる私たち」 3	財政と社会保障・税について理解し、説明することができる。
		14週	「経済的な主体となる私たち」 4	金融の役割について理解し、説明することができる。
		15週	まとめ	授業全体をふり回り、後期に学んだことの全体像をつかみ、目標の達成度を確認することができる。
		16週	期末試験の解説	期末試験の解答を返却し、解答例を確認することができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	期末試験	中間	課題	合計	
総合評価割合	40	40	20	100	
基礎的能力	40	40	20	100	
知識活用力	0	0	0	0	
表現能力	0	0	0	0	